

入館者からの感想や意見・要望等

長崎祈念館 1頁～3頁

長崎祈念館における入館者からの感想や意見・要望等

1. 概要

平成17年2月から「ご意見ノート」を置き、入館者に感想や意見等を自由に記入してもらっている。国際観光船の入港も多く、外国語（英語、ハングル、中国語、アジア・ヨーロッパ各言語）での感想・意見も多くあった。

2. 主な意見・要望等

特に無し。

3. 感想（感想ノート原文のまま掲載）

(1) 祈念館について

- こういう施設がある事を知りませんでした。約1時間半でしたが、とても心に残った1日でした。また来たいと思います。
- 原爆資料館から平和祈念館、文字通り原爆の実証を学び、平和を願うという流れを体験できた。
- 原爆投下についての書物をいくつか読み、当時、多くの方々が水を欲していたことを知り、胸がつまりました。こちらの建物も、水を亡くなった方へ送りたいという想いが伝わってきました。戦争について、正直なところ多くは知りません。今回、長崎を訪れてもっと知らなければいけないと感じました。

(2) 展示について

- ここにある多くのメッセージをできればできるだけたくさんの方々に、ゆっくりとした時間の中で受けとめてほしいと思いました。ほんとは全ての声を聞いてゆきたかったけど、ごめんなさい、限られた時間の中ですから。せめて、今日感じた事を家族や友人に話そうと思います。
- この原爆記録を学び、「今は平和で良かった」と安心するのではなく、同じことがどうしたら起こらないのか、どうしたらもっと平和な日本に、世界になるのかを私たちは考える必要があると感じました。そうすることが死没されてしまった方々への追悼にもなると思います。この祈念館を後世まで残せますように。
- 被爆体験を語り継ぐ永遠の会の方のお話（朗読）を聞いて良かったです。私の未来の子供とまた来ます。ありがとうございました。
- “「被爆を語る」の映像”大変に心を打たれました。

(3) 平和に向けての主張

- 原爆が「長崎」「広島」に投下されたことを語りつぐこと。平和を祈り続けること…人間が人でいることを生涯忘れることなく。
- とても勉強になり、もっと平和な世界にしていきたいです。(10才)
- 平和をあたり前のように享受していることに気づかされました。平和をつくりあげていく為に、私がやるべき事について考え、実行していきたいと思われました。
- 東京から訪れました。広島で生まれ育ち、小さな頃から原爆の悲惨さを学んできました。長崎ははじめてでしたが、この場の空気を直に感じる事ができ、また、多くの方々が世界平和を願っている事実を目にすることができ、貴重な経験になりました。こうやって、人々の想いを場所や未来に紡いでゆくことが世界平和につながるのだと思います。

4. 外国人からの感想

(1) 祈念館について

- 感動的な祈念館。美しくて安らか。素晴らしい追悼の場所。(オーストラリア)
- 人への人による非人道的行為により被害を受けた人々のための美しく、胸の痛む祈念館。～核爆弾を廃止せよ～ (イギリス)
- とても印象的でした。考え、静かに過ごす場所です。(ベルギー)
- この都市と人々を襲った恐ろしい悲劇について、非常に強く心に訴える祈念館を訪れたこと、光栄に思います。館全体に流れる水が組み込まれていることは特に影響力がありました。世界平和を願います！(アメリカ)
- この祈念館は1945年とその後に起こった甚大な被害を静かに追悼するものである。私たちに決して繰り返してはならないと思わせてくれる。(オランダ)

(2) 展示について

- 詳細な作業、真摯な姿勢に感謝します。あなた方は最も忘れられてはいけないことを世界が覚えておくようにする助けとなっています。(オーストラリア)
- 誰もがこの祈念館を見る必要があります。とても心動かされ、また信頼できます。私は想像することすらできないけれど、これらのアーチファクトクト(展示物)を見て、被爆者の話を聞いて、彼らを感じた痛みを感じました。この祈念館は本当に素晴らしいです。アメリカが起こしてしまった苦痛について申し訳なく思います。(アメリカ)

- 祈念館を訪れたことは心が重かった。記憶しておく出来事、努力、平和以降の希望を示す祈念館の方法は美しいです。強くあれ。愛を。ニュージーランドより。ともに、亡くなった人々の思い出と将来の世代のために、より平和な未来を推進しましょう。(ニュージーランド)
- 展示内容はとても有益でした！世界の平和を願います！（シンガポール）

(3) 平和に向けての主張

- ここに来て亡くなった人または生存者の物語を聞いて、悲しいですが感動しました。世界が平和の状態まで進むように祈ります。(インド)
- 恒久平和を！（香港）
- 歴史が二度と繰り返しませんように。犠牲者、被爆者との思慮と祈り。(デンマーク)
- 戦争の惨状を見て、すべての国民が責任を持って自分の人生を生きるためには、社会に関心を持って参加し続けなければならないことを切実に感じた。もうじき小学校に入学する息子に平和な世界を伝えるため、関心を持って努力していきたいと思う。(韓国)
- 世界中永遠に戦争がないように！すべての人が平和と愛の世界で生きていけるように。(台湾)
- 戦争がないように、惨劇を二度と繰り返さないように、世界の平和万歳。(中国)
- 戦争は恐ろしい。平和な時代に生活できてうれしい。世界に平和を。(フィンランド)
- 「戦争」はあらゆるところで命あるもの、ないもの、全てを破壊しうる。私たちの精神をのぞいて。(タイ)
- 平和とは選択と決断である。平和とは人類と世界共に対しての我々の義務である。(フィリピン)
- 広島を2017年に訪れてから、長崎の原子爆弾の歴史について知りたと思っていました。被爆者の受けたつらい体験に再び心動かされました。二度とこのような悲劇を起こさないために全ての核兵器を廃棄するだけでなく原子力エネルギーも手放さなければならない。(ドイツ)
- 私たちは広島と長崎の原爆の歴史を学びました。ここに来て良かったです。神が全ての人々に平和を与えますように。(マレーシア)